

# 沖田町会報

No.41

発行責任者 岡田 徳美  
編集責任者 松永 正典

## 令和2年 祭大特集

### 統前町と当番町がダブルでやって来る

# いまこそ ワンチーム!

新年あけまして

おめでとうございます。

新年を迎え、町内会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より町内会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和2年は沖田町町内会にとり、ものすごい年になりそうです。というのには、日吉山王祭の統前町と鹿嶋まつりの当番町の両方が、十八年ぶりに沖田町に巡ってきたのです。このことは当町内会にとって、盆と正月が一緒にやってきたようなものですが、たいへん名誉なことでもあります。



昨年大活躍したラグビー日本チームにあやかり、沖田町内会がワンチームとなつて、このミッションをやり遂げたいと思います。どうかよろしくお願いします。

## 日吉山王祭

平穏と安全を祈って

新屋の祭りと言えば日吉山王祭、2日に渡り御神幸が、けがれを祓いながら新屋の街々を練り歩きます。境内の舞台では演芸が催され、沿道には約500mに渡り出店が立ち並びます。

【由来】 祭りの起源は不明ですが、日露戦争

## 鹿嶋まつり

子供たちの健やかな成長を祈って

【由来】 鹿嶋行事は、疫病や厄災を祓うため、東日本各地で行われていた民俗行事です。秋田県内では、藁で作った鹿嶋人形を村境に祀るものと、船に柴や草で作った鹿嶋人形を載せて厄災と共に川に流す鹿嶋流し行事の2種類があります。雄物川流域では鹿嶋流しが多く見られ、当地区もそのひとつです。

我が郷土新屋に伝わる「鹿嶋祭」は、三百数十年前から子供たちの無病息災と家内安全を願う伝統行事として永々と営まれていきます。平成28年に秋田市無形民族文化



写真提供：南新町町内会

(1904〜05年)前後には、御神輿を修理した記録があり、江戸時代には始まっていたと思われまします。頭人、竹矢来、御差鉾、御神幸など祭典の形を今に継承してきた歴史と文化が認められ、平成18年には秋田市指定文化財になりました。

【祭事・神事の日程】  
5/1(月)小祓式 頭人宅および統前町をお獅子が清め祓います。  
5/20(月)大祓式 頭人宿に日吉

財に指定されました。

【開催日時】 6月の第2日曜日 (令和2年は6月14日です。)

(新屋の鹿嶋祭 報告書より)

【様子】

各町内と養護学校から練り出される手製の鹿嶋舟が、町内を練り歩きます。子どもたちに牽かれながら、家中のケガレを背負った鹿嶋人形を乗せて、神社で祓いを受けた後、雄物川に流されます。(現在は流していない)

【当町内では】

沖田町は、長年に渡り、青年部を中心に鹿嶋舟に乗せる人形作りに力を入れてきました。力作は祭りの後は、地元幼稚園に飾られています。

大神の分霊を奉記する神事です。別名頭人祭といえます。

5/25(月)宵宮祭 いよいよ明日は神様を迎えようとする祭事です。夕闇の中を頭人が「おさしほ」の御幣の中に入って、無我夢中のまま町内を祓い清めます。

5/26(火)例大祭 神様が、年に一度新輿連の若者に担がれた御神輿に乗り、町内の平穏と安全を見定めまします。祭は本番、最高潮になります。

5/27(水)傘納祭 祭りが終了したことを神様に報告し、頭人はじめ統前町が重任を終えたことに感謝する儀式です。

【日吉山王祭のしきたり】

祭を支えてきた先人の知恵がしきたりとして伝わっています。

○各家庭では燈籠または日の丸を立ててお祝いする。

○おさしほさん(頭人の持つ御幣や、御神輿を二階など、高い所から見下ろさない。

○ご巡幸が通る時は、家族そろって玄關でカシワ手を打つ。

○ご巡幸の列を横切つてはいけません。

○床の間や神棚を清め、玄關まで赤砂をまいて、神様を自宅にお立ち寄りいただく。

また、町内会館に全作品の写真が並んでいます。

毎年人形に添える標語も秀逸で、これまでの作品例では、「みんなの



りいただく。(日吉山王祭覚書より)

【進捗状況】

・11/9(土)前統前町(南新町)との引き継ぎ会を終え、祭典実行委員会を立ち上げようとしています。

・頭人は山岡良治さん(1班)にお引き受けいただきました。

【体制と役割】

- ・総務部◇各団体、機関等との連絡調整、物品調達、管理ほか
- ・経理部◇収支金の記録、管理等
- ・接待部◇神事、休憩所、会議、直会等の飲食準備
- ・警備部◇巡幸行列の整理、警備
- ・狼煙、交通指導隊との連絡調整
- ・施設部◇御神宿、竹矢来、舞台設置撤去、テント、幟旗、案内板等の設置管理、車両運行
- ・余興部◇舞台運営、出演者接待
- ・観覧席の管理等

およそ半月の短い時間に、新屋の2つのお祭りが開催されます。そしてどちらも沖田町が当番の大役を仰せつかっています。いろいろな役割が発生しますが、ご協力の程、節にお願いいたします。

えがおで40年!!! 「笑顔全開心を一つに沖田っ子」「なりたいたいな相手の気持ちわかる人」「私から笑顔をいっぱい広げよう」「良い子に育て」というよりもあふれる笑顔で抱きしめて」

今後も沖田町内の子供たちの成長を見守って行きたいと思っております。

秋の叙勲

瑞宝単光章を受章

13班 佐々木恵子さん

2019年の秋の叙勲で、13班の佐々木恵子さんが瑞宝単光章を受章されました。

叙勲とは長年にわたり社会に貢献した70歳以上のの人に対し、国が勲章を与えるもので、毎年春と秋に内閣から発表されるものです。佐々木さんは長年看護業務に携わり、秋田大学医学部附属病院で看護師長を務めるなど、その功労が認められました。おめでとうございます。



授与された瑞宝単光章の授与証

秋田県身体障害者自立更生等表彰式

秋田県知事賞を受賞

9班 高橋清治さん

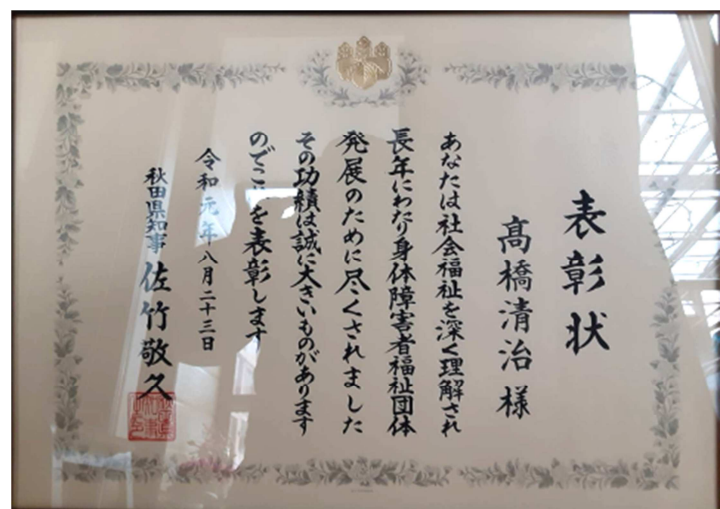
8月23日県庁正庁にて、秋田県身体障害者自立更生等表彰式が開催され、9班の高橋清治さんが秋田県知事賞を受賞されました。

秋田県身体障害者自立更生等表彰式は、秋田県と社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会が主催し、身体障害者福祉の増進に寄与し、その業績が特に顕著で県民の模範であると認められる者に対し、表彰状を

沖田町敬老会を開催

10月23日、沖田町内会館に於いて沖田町敬老会を開催しました。

対象者23名の参加をいただき、地域の話題やそれぞれの近況を語り合うなど親交を深めました。今回はゲストとして民謡日本一の田中恵さん、沖田町の民謡歌手17班の杉山エツさん、三味線伴奏8班の高橋末吉さん一行の歌や演奏で楽しく賑やかに過ごし、カラオケでも大いに盛り上がりました。まだまだ元気な皆さんのパワーに感心するとともに、ますますのご活躍を期待します。



佐竹知事からの表彰状

贈呈し、その功績をたたえ、福祉の増進を図るとともに、後進者への励みとなることを目的として行われるものです。この度の受賞に際し高橋さんから寄せられた手記をご紹介します。

障害者になり知事賞 40才の頃から体がだんだん動かなくなってきたので市立病院の各科で診察し、整形外科高浜先生から精密検査の結果このまま置くと歩行ができなくなると言われ、病名は難病で頸椎後縦靭帯骨化症と診断

され、45才のときに首の骨四ヶ所を削り取る手術をしました。身体障害者に認定され36年になり、現在秋田身体障害者新屋区会のぞみ学級で毎月1回参加し色々とお勉強しています。

平成26年秋田市身体障害者協会会長賞、平成29年秋田県身体障害者福祉協会会長賞として今回令和元年秋田県知事賞をいただき、大変嬉しく思っています。

これからも会の行事など参加して障害者健常者の方々に協力していくつもりです。よろしくおねがいします。 (ここまで) おめでとうございます。

3連覇ならず

第52回新屋町民大運動会

9月1日に行われ、沖田町の3連覇をかけて臨んだ町民大運動会でしたが、結果は第4位と無念の涙のみでした。目標には届きませんでしたが、得意とする年齢別対抗リレーでは圧倒的な強さを見せ、見事1位を獲得しました。張り切り過ぎのハプニングもありましたが、大事には至らず、終了後は参加者による健闘を称える会で締めくくりました。



優勝のリレー出場者

(敬称略) 20班 戸井田実真 6班 仙葉姫子 5班 高橋琉太郎 2班 谷藤光樹 4班 吹谷梨桜 12班 倉部舞 20班 戸井田優来 10班 佐藤智昭 12班 沓澤真衛 6班 仙葉優佳 6班 山内春雄 13班 岡田泰雅 12班 沓澤順子 5班 高橋善広

出生おめでとう!

23班 伊藤 壮志(そうし)さん 伊藤 優さん 第2子 令和元年6月11日出生

24班 一関 和奏(わかな)さん 一関 誠司さん 第1子 令和元年11月27日出生

浸水対策下水道事業計画

会報39号でもお知らせしております。大雨で浸水被害が発生する懸念されている①町内1班の西部体育館向かいの小路の側溝と②南団地との境を流れる河川について、対策を求めた改修要望に対し、市の事業計画が示されました。

①については今年度から令和3年度まで、②については令和3年度から6年度にかけて実施する計画です。各年度すべてを合わせると8億円を超える大事業となります。最近は一時的に集中して激しい降雨が発生することが多く、大きな災害になる恐れがあり、早急な対策が求められていたところですが、ようやく安心安全に向けた改修工事が

沖田町新年会 1月11日(土) 17時から 沖田町会館 男性千円 女性五百円

の実現が見えてきました。年度計画や事業費などについては次のとおりですが、2月に実施予定の班会議の中でも明らかにしている内容について報告いたします。

①沖田町内の工事計画			
年度	管径(mm)	延長(m)	事業費(千円)
R1	φ1350	160	50,000
R2	φ1350	160	80,000
R3	φ600	80	35,000
計		400	165,000
②南団地町内の工事計画			
年度	管径(mm)	延長(m)	事業費(千円)
R3	□2100×2100	190	180,000
R4	□2100×2100	170	160,000
R5	□2100×2100	210	190,000
R6	□2100×2100	130	120,000
計		700	650,000

へ計報へ

猿田良嗣さん(76歳) 11月7日  
堀川怜治さん(81歳) 11月26日  
加藤喜美子さん(79歳) 11月30日  
謹んでご冥福をお祈りいたします。